

# 今、恵泉のところが温かい

## Peacemaker — 今も変わらぬ使命を確かめて

「わが娘もここで育てほしい」。母となった卒業生が学園に舞い戻ります。母校は、今に相応しい教育術を繰り広げる先進校です。しかし、温かい学園のところは昔も今も変わりません。およそ100年、創立者の勇気と愛を、誠実に守り継いでいるからです。恵泉が育てているのは、世界を率いる「グローバルリーダー」ではありません。身の回りから始めて、世界に平和を広げていく人です。

「平和と善意が支配する新しい世界秩序を導き入れるように、力をかすようになってほしい。」  
— 創立者 河井道 『My Lantern』より／英文自叙伝和訳)



小学生の皆さんのところが弾む  
中学高校随一のメディアセンター▶



## 感話 恵泉で育つ第一の意義

創立期以来、恵泉で育つ生徒たちにとって最もたいせつなものです。6年の成長を導く、すべての教育活動の源です。

クラス礼拝での感話は各々が年に三回担当します。週1度の生徒礼拝では、上級生代表\*の言葉を受け取ります。  
(\*中学生は3年生、高校生は6年生)

何を想うのか。何を誓うのか。話者は、言葉を選んで、一途に綴り、友人の前で語りかけます。聞き手は、隅々まで聴き留めて、自己に照らして考えます。なぜ、感話を重んじるのでしょうか？ ぜひとも、実際の文章をお読みください。その意義をおわかりいただけるでしょう。

▶ たくさん感話を掲載しています。温かいところの表れです。▶

■ 恵泉生は「意義」を心得ています。感話から/MOVE編集部による抜粋

～（他の人が、）場合によっては全く逆の考えをしていたりすることもあります。しかし、その人の考え方を聞いたり、興味をもったりすることで、自分の視野を広げることができると思います。視野を広げるといことは、この先の人生でもとても役立つことです。感話という機会を通して人の考えを知り、そこから自分を見つめ直す、内面と向き合う貴重な時間であることを改めて認識できました。さらに感話は新しい道を開く機会を与えてくれます。～（—ATさん/3年生 2023年4月）

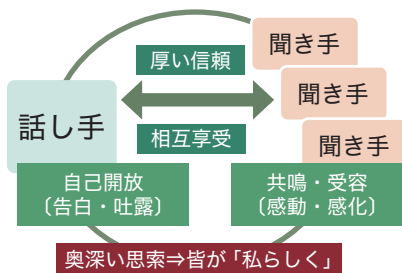


## こころを耕す静思の時 自己と向き合う 表現を豊かに 共に生きる

「園芸」に喩えるなら、オーガニックファームングです。個々の自然の姿を貴びます。授けるメッセージは「自分だけの花を咲かせましょう」。「定型」「規格」を押し付けません。自身の生き方を描くのは自身だからです。

◎ 感話を書き表す際には、葛藤が生じます。自己の弱点を痛感します。皆が、そのことを知っているから、話し手（＝友人・同志）のこころの内に、耳を澄まします。

◎ 恵泉生は日ごろから、互いに信頼しています。女子校だからこその心を開いて、語り合える部分があります。感話という真剣な語りを通して信頼をさらに深めます。



## 恵泉エデュケーションの神髄

強<sup>ぜ</sup>いず急<sup>い</sup>かさず有志を招きます  
「彼女たちがみずから考え、計画を立て、また自分たちのしていることを楽しむように、チャンスを与えようではないか。」

— 創立者 河井道  
『Sliding Doors』より／英文自叙伝和訳)

恵泉のこころを知るために  
創立者 河井道について▶



## 広大なチャレンジフィールド。学園の想いに応えよう。

正課授業から校外研修に至るまで学びの場は多種多様です。

そのフィールドは、ますます拡充しています。ぜひ、学園ウェブサイトの内覧しましょう。▶



学園は、芽生える色とりどりの意志を鮮やかに実らせるために、数多くの「畑」（＝機会）を用意しているのです。「有志（希望者）を募る」イベントが多数です。すすんで手を挙げたのであれば、晴れやかに楽しみ、大胆にチャレンジします。

クラブでも、学校行事でも、想いの限り打ち込みましょう！ 学園は全力で応援します。すべての教育活動には、恵の泉（＝学園の願い）が注ぎ込まれています。各自の熱中するものが違って、やがて、皆が「恵泉生」に育ちます。

## 聖書 主体的に生きる 英語 多様性を受容 園芸 他者と協働

創立以来、学園を堅固に支える3本の柱です。これからも、決して揺らぎません。校地を訪ねたときには、それぞれの深みを確かめましょう。（例えば）「英語」が求めるのは、検定試験に合格するための英語力だけではありません。

疫病や戦争が世界を脅かしています。世界平和は実現できないのでしょうか？ 私は諦めない。目の前の「できること」を見つけて実践したい。凜凛しく構えて、勇敢に、しなやかに行動する人を、この3本柱が生涯支えていくのです。



砂漠に花を咲かしめなんと／平和の道をひらきて進まん — 校歌より

## 恵泉女学園中学校

<https://www.keisen.jp/>

説明会情報▶



〒156-8520 東京都世田谷区船橋5-8-1 TEL: 03-3303-2115  
【小田急線】経堂駅・千歳船橋駅下車 徒歩12分

アクセス▶

